

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成18年4月13日(2006.4.13)

【公開番号】特開2001-205783(P2001-205783A)

【公開日】平成13年7月31日(2001.7.31)

【出願番号】特願2000-24678(P2000-24678)

【国際特許分類】

B 4 1 F 31/04 (2006.01)

B 4 1 F 31/02 (2006.01)

【F I】

B 4 1 F 31/04

B 4 1 F 31/02 E

【手続補正書】

【提出日】平成18年2月23日(2006.2.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】印刷機におけるインキ供給量のプリセット装置及びプリセット方法

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

刷版絵柄面積率データを基にして予め設定されている標準的な変換式によりインキツボキー開度に変換し、該開度値に基いて印刷を行ないかつ印刷されたサンプルと校正刷りを比較して色のずれをオペレータが各インキツボキーの開度を操作して色合わせを行なうインキ供給量のプリセット装置において、

各インキツボキーに対応した絵柄面積率データからインキローラ上で発生するインキ拡散の影響を加味した仮想絵柄面積率データを作成し、かつ印刷により適正インキツボキー開度を得て該仮想絵柄面積率データとを比較演算して新しい変換式を求め、該標準的な変換式を該新しい変換式に書き替えることを特徴とする印刷機におけるインキ供給量のプリセット装置。

【請求項2】

予め設定されている標準的な変換式を用いて絵柄面積率データをインキツボキー開度に変換する工程と、

インキツボキー開度から左右に隣接するインキツボキー開度との差を計算する工程と、左右に隣接するインキツボキー開度との差を計算する工程と、

左右に隣接するインキツボキーとのキー開度差からインキの流入量と流出量とを計算してインキツボキー開度に補正を加える工程と、

インキの流入量と流出量とに補正を加えたインキツボキー開度を逆算して仮想の絵柄面積率データを作成する工程と、

実際に印刷を行なって適正インキツボキー開度のデータを得る工程と、

該仮想の絵柄面積率データと該適正インキツボキー開度のデータから新しい変換式を算出する工程と、

該標準的な変換式を該新しい変換式に書き替える工程と、
から構成されることを特徴とする印刷機におけるインキ供給量のプリセット方法。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は印刷機のインキ供給機構に関するが、詳しくは印刷機におけるインキ供給量のプリセット装置に関するものである。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0003

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0003】

また、特開平8-1914のようにインキ元ローラの温度や印刷速度及び印刷用紙の種類などの印刷条件を取り入れて変換式を導き出す方法もあるが、いずれもインキ元ローラの温度や印刷速度及び印刷用紙の種類などの印刷条件は印刷作業毎に変化するものであるから、安定したデータとして扱うことは困難であるとともに適正な変換式を得にくいという問題がある。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

【課題を解決するための手段】

本発明は上記の如き課題を解決するために開発したものであって、刷版絵柄面積率データを基にして予め設定されている標準的な変換式によりインキツボキー開度に変換し、該開度値に基いて印刷を行ないかつ印刷されたサンプルと校正刷りを比較して色のずれをオペレータが各インキツボキーの開度を操作して色合わせを行なうインキ供給量のプリセット装置において、各インキツボキーに対応した絵柄面積率データからインキローラ上で発生するインキ拡散の影響を加味した仮想絵柄面積率データを作成し、かつ印刷により適正インキツボキー開度を得て該仮想絵柄面積率データとを比較演算して新しい変換式を求め、該標準的な変換式を該新しい変換式に書き替えることを特徴とする印刷機におけるインキ供給量のプリセット装置の提供にある。また予め設定されている標準的な変換式を用いて絵柄面積率データをインキツボキー開度に変換する工程と、インキツボキー開度から左右に隣接するインキツボキー開度との差を計算する工程と、左右に隣接するインキツボキー開度との差を計算する工程と、左右に隣接するインキツボキーとのキー開度差からインキの流入量と流出量とを計算してインキツボキー開度に補正を加える工程と、インキの流入量と流出量とに補正を加えたインキツボキー開度を逆算して仮想の絵柄面積率データを作成する工程と、実際に印刷を行なって適正インキツボキー開度のデータを得る工程と、該仮想の絵柄面積率データと該適正インキツボキー開度のデータから新しい変換式を算出する工程と、該標準的な変換式を該新しい変換式に書き替える工程と、から構成されることを特徴とする印刷機におけるインキ供給量のプリセット方法の提供にある。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

【発明の効果】

本発明は、刷版絵柄面積率データを基にして予め設定されている標準的な変換式によりインキツボキー開度に変換し、該開度値に基いて印刷を行ないかつ印刷されたサンプルと校正刷りを比較して色のずれをオペレータが各インキツボキーの開度を操作して色合わせを行なうインキ供給量のプリセット装置において、各インキツボキーに対応した絵柄面積率データからインキローラ上で発生するインキ拡散の影響を加味した仮想絵柄面積率データを作成し、かつ印刷により適正インキツボキー開度を得て該仮想絵柄面積率データとを比較演算して新しい変換式を求め、該標準的な変換式を該新しい変換式に書き替えることを特徴とする印刷機におけるインキ供給量のプリセット装置であり、また予め設定されている標準的な変換式を用いて絵柄面積率データをインキツボキー開度に変換する工程と、インキツボキー開度から左右に隣接するインキツボキー開度との差を計算する工程と、左右に隣接するインキツボキー開度との差を計算する工程と、左右に隣接するインキツボキーとのキー開度差からインキの流入量と流出量とを計算してインキツボキー開度に補正を加える工程と、インキの流入量と流出量とに補正を加えたインキツボキー開度を逆算して仮想の絵柄面積率データを作成する工程と、実際に印刷を行なって適正インキツボキー開度のデータを得る工程と、該仮想の絵柄面積率データと該適正インキツボキー開度のデータから新しい変換式を算出する工程と、該標準的な変換式を該新しい変換式に書き替える工程と、から構成されることを特徴とする印刷機におけるインキ供給量のプリセット方法であるから、高精度の絵柄面積率データの変換式を簡単容易に作成することができる。その結果、印刷開始時の色合わせが迅速にできるとともにオペレータの負担も軽減できるので、色合わせに要する時間の短縮と色合わせのための損紙の低減を図ることができる。